

第8 資料

- 1 合計特殊出生率の高い道内市町村の要因分析
- 2 用語の解説
- 3 各種統計データ
- 4 北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例

1 合計特殊出生率の高い道内市町村の要因分析



えりも町

えりも町は、日高東部に位置し、豊かな水産資源と雄大な自然景観に恵まれた漁業と観光の町。「風極の地」と呼ばれる日本屈指の強風地帯。

人口 5,194 人（H26.6 住民基本台帳） 面積 283.93 km²

- ・保育所 3 箇所（定員 245 名）
- ・幼稚園 1 箇所（在園者数 32 人 25.5.1 現在）
- ・子育て支援拠点 1 箇所
- ・放課後児童クラブ 1 箇所
- ・小学校 5 箇所
- ・中学校 1 箇所
- ・高校 1 箇所
- ・医療機関 5 箇所（産科 0）

1 町の特徴

- (1) えりも町は、合計特殊出生率が全道で 1 位の 1.90。しかし、人口は、平成 22 年（国勢調査）と平成 26 年 6 月（住民基本台帳）では、全道では 1.2%、町村部で 3.4%減少している中、当町は、4%減少しており、他の地域より人口減少が進んでいる。
- (2) 出生率（対千人）は、平成 12 年以降減少し、平成 22 年には 9.1 人／千人まで減ったが、9～10 人／千人台で推移しており、これは、20 代の有配偶者率が 31.3%（全道 21.0%）と高いことが、出生率の維持に繋がっていると思われる。
- (3) えりも町の基幹産業は、昆布やさけを中心とした漁業であり、就業者人口のうち約 45%が漁業就業者であり、近年 1,400 人前後で推移している。漁業就業者の年齢構成は、全道と大きく変わりはないが、全就業者の占める 20 代以下の漁業就業者の割合 4.06%と、全道の 0.13%を大きく上回っている。
- (4) 平成 23～25 年度に行った町保健師の調査によると、出生児の父親の主な職業は、1 位が漁師（平均 44%）、2 位が公務員（平均 30%）となっている。また、昆布漁家を中心に 3 世代同居世帯が高く、町全体の 3 世代同居世帯が道内の他の市町村よりも 11.5%と高い（全道 3.9%）。このため、家庭内における子育て環境が整っていることにより、20 代での結婚、出産に繋がっていると思われる。更に、第 2 子、第 3 子の出生児が全道平均よりも高い傾向にある。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 子ども医療費助成事業：中学生まで医療費の自己負担 1,000 円を超える場合に助成
- (2) すこやか赤ちゃん誕生祝い金：出生児一人につき 3 万円支給
- (3) 乳幼児健診事前問診：平成 17 年度より健診一週間前に保健師・歯科衛生士等による事前問診を実施
- (4) 児童生徒の基礎学力向上を図るための中高一貫教育
- (5) 奨学金制度：高校→月額 15,000 円、大学・短大等→月額 30,000 円の無利子貸付

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) えりも町の主要産業は漁業であり、その中でも昆布漁を中心に比較的安定した経営ができていることにより、後継者の確保ができ、この結果、全就業者のうち若年の漁業就業者率が高い傾向にある。
- (2) また、町としての子育て支援は特に他の地域と比べて進んでいる点はみられないが、3 世代同居世帯が多いことから、家庭内での子育て支援が受けやすい環境にあり、その不足分を地域で十分補える環境にあると思われる。
- (3) この若年就業者が 20 代で結婚、出産し、その後の、第 2 子、第 3 子への出産へと繋がることにより、出生率が高率で推移していると思われる。

<参考>

○ 合計特殊出生率 (人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 2.11 | 1.89 | 1.82 | 1.81 | 1.85 | 1.90 |

○ 人口の推移 (S40~H22: 国勢調査、H26: 住民基本台帳)

(単位: 人)

| | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 4,562 | 3,974 | 3,723 | 3,438 | 3,354 | 3,100 | 2,863 | 2,698 | 2,586 |
| 20代 | 739 | 697 | 495 | 439 | 468 | 433 | 338 | 294 | - |
| 女性 | 4,057 | 3,803 | 3,733 | 3,596 | 3,457 | 3,148 | 2,933 | 2,715 | 2,608 |
| 20代 | 582 | 598 | 403 | 364 | 366 | 297 | 246 | 224 | - |
| 合計 | 8,619 | 7,777 | 7,456 | 7,034 | 6,811 | 6,248 | 5,796 | 5,413 | 5,194 |
| 20代 | 1,321 | 1,295 | 898 | 803 | 834 | 730 | 584 | 518 | - |

○ 出生数、出生率 (北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
| 出生数(人) | 125 | 100 | 85 | 79 | 63 | 55 | 48 | 56 |
| 出生率(%) | 16.1 | 13.4 | 12.1 | 11.6 | 10.1 | 9.5 | 9.1 | 10.7 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移 (国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 28.1% | 27.6% | 20.9% | 23.6% | 24.3% | 23.8% |
| 女性 | 59.8% | 48.9% | 44.8% | 45.1% | 41.5% | 41.1% |
| 合計 | 42.3% | 37.2% | 31.4% | 32.3% | 31.5% | 31.3% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移 (国勢調査)

| | H12 | H17 | H22 |
|-------|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | 2,115 | 2,095 | 2,012 |
| 三世帯 | | | |
| 世帯数 | 345 | 273 | 231 |
| 割合 | 16.3% | 13.0% | 11.5% |
| 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 出生順位別 (H25: えりも町)

| | 第1子 | 第2子 | 第3子 | 4子以上 |
|------|-------|-------|-------|------|
| えりも町 | 42.9% | 38.1% | 19.0% | 0.0% |
| 全道 | 49.9% | 36.4% | 10.9% | 2.8% |

○ 就業者の状況 (H22: 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| えりも町 | 107人 | 1,449人 | 1,556人 | 395人 | 244人 | 127人 | 169人 | 444人 | 264人 | 1,248人 | 3,199人 | 3.1% |
| | 3.34% | 45.30% | 48.64% | 12.35% | 7.63% | 3.97% | 5.28% | 13.88% | 8.25% | 39.01% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合 (H22: 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| えりも町 | 0.44% | 4.06% | 4.50% | 2.03% | 1.34% | 0.88% | 1.38% | 1.63% | 2.56% | 7.79% | 14.32% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 漁業就業者の年齢構成 (H22: 国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| えりも町 | 0.9% | 3.5% | 4.6% | 13.0% | 15.9% | 23.0% | 39.1% |
| 全道 | 0.8% | 3.4% | 5.1% | 12.5% | 16.9% | 22.6% | 38.7% |

○ 漁家戸数と漁業従事者数の推移 (えりも町より情報提供)

| | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 漁家戸数(戸) | 796 | 784 | 788 | 774 | 768 | 744 | 724 | 733 | 709 | 709 |
| 従事者数(人) | 2,146 | 2,113 | 2,128 | 2,089 | 2,071 | 2,001 | 1,795 | 2,227 | 2,217 | 2,195 |



別海町

別海町は、大規模な酪農が展開され、乳牛・肉牛を合わせて12万頭を数える日本一の生乳生産量を誇る酪農王国であり、サケ、マス、北海シマエビ、ホタテ、ホッキなど豊かな水産資源に恵まれた町。

人口 15,858 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 1,320.23 km²

- ・保育所 8 か所 (定員 420 名)
- ・幼稚園 5 か所 (在園者数 267 人 25.5.1 現在)
- ・子育て支援センター 1 か所
- ・放課後児童クラブ 2 か所
- ・小学校 4 か所
- ・中学校 4 か所
- ・高校 1 か所
- ・医療機関 3 か所 (産科 1)

1 町の特徴

- (1) 別海町は、合計特殊出生率が全道で2位の1.86。人口は、平成22年(国勢調査)と平成26年6月(住民基本台帳)では、ほぼ横ばいの15千人台で推移しており、全道で1.2%、町村部で3.4%の人口が減少している中、健闘している地域である。
- (2) 出生率(対千人)は、平成12年に9.2人/千人まで減少したが、それ以降、ほぼ10人/千人台で横ばい傾向にあり、これは、20代の有配偶者率が32.5%と高いこと(全道21.0%)が、出生率の維持に繋がっていると思われる。
- (3) 別海町の基幹産業である農業に就業者人口のうち約35%が従事(全道5.9%)しており、広大な草地資源と豊富な水資源を活かし、大規模な酪農による日本一の生乳生産地となっている。また、酪農経営を支えるコントラクター(農作業請負組織)やTMR(完全混合飼料調整施設)などの育成・強化によって、酪農経営の安定化を支援し、さらに新規就農者を育成する別海町酪農研修牧場等の取組により、町内外からの多様な担い手の育成・確保に努めているほか、町独自の乳製品を生産するべつかい乳業興社や日本の乳業メーカー上位3社の乳製品工場が立地するなど、酪農に関連した機関・工場が集積している。
- (4) こうした基幹産業の育成とあわせ、別海町によると就学前児童の約30%、小学校児童世帯では約40%が祖母と同居していることによる家庭内育児環境や町による子育て支援策などにより、安心して出産・子育てできる環境が整っていると思われる。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 乳幼児医療費助成：小学生までを対象とし、3歳未満は初診時一部自己負担、3歳以上は1割のみ自己負担
- (2) 特定不妊治療費助成：1回7万5千円を上限(道の助成を差引いた額)。通算5年間で10回。
- (3) 妊婦健診、超音波検査費用助成：妊婦健診(14回分)、超音波検査(6回分)無料
- (4) 道外への医療機関又は助産所での妊婦健康診査費用の一部助成
- (5) 保育料の減免
- (6) 町立別海病院に産婦人科や小児科を開設。妊産婦や乳幼児に対する医療提供体制の充実
- (7) 婚活支援(大阪府枚方市)の実施

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 酪農業が主産業で、新規就農への支援や酪農ヘルパー事業などの酪農世帯への支援策が充実していることにより、安定した酪農経営ができています。このことにより、後継者の確保や若年層の定着へとつながり、人口が維持されていると思われる。
- (2) 20代の有配偶者率も全道に比べ高く、また、3世代同居世帯が多いことから、家庭内における子育て支援が受けやすい環境にあることも影響していると思われる。

(3) 町においては、町立別海病院による産婦人科の開設や助産師の配置、更に日常的な保健師の活動等により、安心して妊娠・出産できる体制を整えるとともに、保育料の減免等による子育て世帯への経済的負担の軽減も図っている。

＜参考＞

○ 合計特殊出生率（人口動態統計）

| | S58～62 | S63～H4 | H5～9 | H10～14 | H15～19 | H20～24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 2.35 | 2.04 | 1.86 | 1.82 | 1.85 | 1.86 |

○ 人口の推移（S40～H22：国勢調査、H26：住民基本台帳）

（単位：人）

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 全体 | 9,940 | 9,242 | 9,381 | 9,187 | 8,753 | 8,435 | 8,143 | 7,883 | 7,956 |
| | 20代 | 1,312 | 1,610 | 1,303 | 1,015 | 974 | 1,044 | 1,023 | 907 | — |
| 女性 | 全体 | 9,562 | 8,836 | 9,152 | 9,110 | 8,796 | 8,475 | 8,317 | 7,972 | 7,902 |
| | 20代 | 1,296 | 1,533 | 1,143 | 963 | 891 | 923 | 863 | 740 | — |
| 合計 | 全体 | 19,502 | 18,078 | 18,533 | 18,297 | 17,549 | 16,910 | 16,460 | 15,855 | 15,858 |
| | 20代 | 2,608 | 3,143 | 2,446 | 1,978 | 1,865 | 1,967 | 1,886 | 1,647 | — |

○ 出生数、出生率（北海道保健統計）

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|
| 出生数(人) | 368 | 295 | 221 | 170 | 155 | 181 | 161 | 169 |
| 出生率(%) | 20.4 | 15.9 | 12.1 | 9.7 | 9.2 | 11.0 | 10.3 | 10.9 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者（20代）の推移（国勢調査）

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 32.7% | 28.7% | 23.9% | 27.9% | 30.7% | 25.8% |
| 女性 | 61.7% | 54.6% | 44.3% | 43.1% | 45.4% | 41.1% |
| 合計 | 46.2% | 41.3% | 33.4% | 34.9% | 37.4% | 32.5% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移（国勢調査）

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 5,543 | 5,772 | 5,844 |
| 三世帯 | 世帯数 | 1,001 | 855 | 718 |
| | 割合 | 18.1% | 14.8% | 12.3% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況（H22：国勢調査）

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 別海町 | 2,990人 | 475人 | 3,465人 | 1,414人 | 752人 | 340人 | 529人 | 1,403人 | 562人 | 3,586人 | 8,465人 | 2.5% |
| | 35.32% | 5.61% | 40.93% | 16.70% | 8.88% | 4.02% | 6.25% | 16.57% | 6.64% | 42.36% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合（H22：国勢調査）

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 別海町 | 5.20% | 0.69% | 5.89% | 2.79% | 1.51% | 0.71% | 1.01% | 2.93% | 1.92% | 8.08% | 16.76% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 農業就業者の年齢構成（H22：国勢調査）

| | 15～19歳 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 別海町 | 0.6% | 6.2% | 8.1% | 17.0% | 16.4% | 27.3% | 24.4% |
| 全道 | 0.6% | 3.5% | 5.3% | 13.1% | 15.2% | 23.5% | 38.9% |



共和町

共和町は、農産品ブランド「らいでん」に象徴されるように、農業のまち。澄んだ空気と水、豊かな大地が育む、自然の恵みがいっぱい町。

人口 6,349 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 304.96 km²

- ・認定こども園 2 箇所 (定員 320 名)
- ・幼稚園 2 箇所 (在園者数 39 人 25.5.1 現在)
- ・子育て支援センター 1 箇所
- ・放課後児童クラブ 3 箇所
- ・小学校 3 箇所
- ・中学校 1 箇所
- ・高校 1 箇所
- ・医療機関 4 箇所 (産科 0)

1 町の特徴

- (1) 共和町は、合計特殊出生率が全道で 3 位の 1.81。しかし、人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、1.2%減少しており、全道の町村部よりは減少率が低いものの、ほぼ全道平均と同率で減少している。
- (2) 出生率 (対千人) は、昭和 50 年には 11.1 人/千人と全道平均の 16.8 人/千人を大幅に下回っていたが、全道が大きく減少している中、ほぼ 10 人/千人±1 人で推移している。
- (3) 基幹産業である農業に加え、北電泊発電所の社宅があることにより、比較的若年層が地域に定着している。
また、農家世帯については、3 世帯同居や祖父母が近隣に住んでいることなどにより、家族からの子育て支援が比較的受けやすい環境にあることなどから、20 代の有配偶者率が全道に比べ高いと思われる。
- (4) 共和町では、昭和 63 年から毎年農業の後継者対策として、農業青年交流会を実施し、婚活支援を行っている。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 乳幼児健診や相談などの実施による母親等への支援の充実
- (2) 健診料、保育料等、子育て世帯への経済的支援の充実
- (3) 婚活支援の実施

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 農業や北電社員等、比較的安定した収入を得ている世帯が多いことなどから、若年者が定着し、有配偶者率も高くなっている。
- (2) 農家世帯については、3 世代同居等により家庭内における子育て支援が受けやすいことにより、こうしたことも一つの要因と思われる。

<参考>

○ 合計特殊出生率 (人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 1.87 | 1.78 | 1.71 | 1.79 | 1.58 | 1.81 |

○ 人口の推移 (S40~H22 : 国勢調査、H26 : 住民基本台帳)

(単位 : 人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 5,576 | 4,012 | 4,282 | 3,743 | 3,672 | 3,577 | 3,584 | 3,215 | 3,192 |
| | 20代 | 633 | 449 | 526 | 470 | 508 | 470 | 375 | 327 | - |
| 女性 | 全体 | 5,777 | 4,292 | 4,000 | 3,948 | 3,758 | 3,672 | 3,528 | 3,213 | 3,157 |
| | 20代 | 778 | 508 | 410 | 401 | 333 | 230 | 271 | 193 | - |
| 合計 | 全体 | 11,353 | 8,304 | 8,282 | 7,691 | 7,430 | 7,249 | 7,112 | 6,428 | 6,349 |
| | 20代 | 1,411 | 957 | 936 | 871 | 841 | 800 | 646 | 520 | - |

○ 出生数、出生率 (北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 出生数(人) | 92 | 85 | 70 | 70 | 82 | 65 | 59 | 59 |
| 出生率(%) | 11.1 | 10.3 | 9.1 | 9.4 | 11.3 | 9.2 | 9.2 | 9.4 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移 (国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 26.6% | 25.1% | 20.7% | 26.4% | 29.1% | 22.6% |
| 女性 | 55.4% | 49.6% | 50.8% | 50.9% | 49.8% | 46.6% |
| 合計 | 39.2% | 36.4% | 32.6% | 36.5% | 37.8% | 31.5% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移 (国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 2,752 | 2,788 | 2,697 |
| 三世帯 | 世帯数 | 330 | 275 | 228 |
| | 割合 | 12.0% | 9.9% | 8.5% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況 (H22 : 国勢調査)

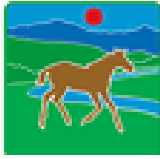
| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 共和町 | 934人 | 4人 | 938人 | 984人 | 254人 | 87人 | 226人 | 664人 | 135人 | 1,366人 | 3,288人 | 5.2% |
| | 28.41% | 0.12% | 28.53% | 29.93% | 7.73% | 2.65% | 6.87% | 20.19% | 4.11% | 41.54% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合 (H22 : 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 共和町 | 1.73% | - % | 1.73% | 5.21% | 0.91% | 0.33% | 1.30% | 3.52% | 0.58% | 6.64% | 13.58% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 農業就業者の年齢構成 (H22 : 国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 共和町 | 0.4% | 2.0% | 3.6% | 10.0% | 15.6% | 22.6% | 45.7% |
| 全道 | 0.6% | 3.5% | 5.3% | 13.1% | 15.2% | 23.5% | 38.9% |



日高町

日高町は日高西部の雄大な日高山脈の麓に位置し、日高山脈襟裳国定公園や沙流川など豊かな自然を利用した観光や産業が盛んで、日高山脈を望んで牧歌的風景が広がるサラブレットの町。

人口 13,042 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 992.67 km²

- ・保育所 4 か所 (定員 285 名)
- ・幼稚園 2 か所 (在園者数 159 名 25.5.1 現在)
- ・子育て支援拠点 2 か所
- ・放課後児童クラブ 4 か所
- ・小学校 5 か所
- ・中学校 4 か所
- ・高校 2 か所
- ・医療機関 6 か所 (産科 0)

1 町の特徴

- (1) 日高町は、合計特殊出生率が全道で 4 位の 1.80。しかし、人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、全道で 1.2%、町村部で 3.4%減少している中、当町は、4.2%減少しており、他の地域より人口減少が進んでいる。
- (2) 出生率 (対千人) は、平成 12 年以降大きな変動はなく、8 人/千人±1 人で推移している。
- (3) 日高町の基幹産業は、農業であり、町によると 15 年ほど前から軽種馬の補完として野菜との複合経営農家が増加し始め、農業所得が安定してきている。
また、農業就業者の年齢が全道に比べ比較的若い傾向にある。(25~29 歳で全道 5.3%に対し日高町は 8.7%)
- (4) 大規模な軽種馬牧場や競馬場関係者の雇用もあり、若年労働者の定住が図られる環境にある。
- (5) 近年、高規格道路の整備により、苫小牧市からの交通の便が良くなったことにより、同町での住宅取得定住者増が見られる。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 結婚祝金制度：一時金 1 万円
- (2) エンゼル祝金制度：第 2 子まで 5 万円、第 3 子 10 万円、第 4 子 15 万円、第 5 子 20 万円
- (3) 医療費助成制度：小学生まで入院・通院、中学生は入院のみ無料
- (4) 富川高校・日高高校通学者への遠距離通学費、教科書支給等
- (5) 両校卒業者に対する大学等進学祝金 3 万円、地元就職祝金 3 万円
- (6) 町内 10 か所で育児サークルが活動
- (7) 婚活支援：農業後継者を対象に年 2 回開催
- (8) 住宅建築助成制度：町が指定した分譲地を購入し、5 年以内に町内の業者で建築した場合に住宅建設奨励金 200 万円

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 主産業である農業が、施設野菜栽培の普及により安定した経営が図られているとともに、乳業会社や大規模軽種馬牧場、競馬場関係などの若年者の雇用の場があることにより、若年労働者が維持されている。
- (2) 3 世代同居世帯は多くはないが、町内の 4 か所の保育所や 2 か所の幼稚園が設置されるなど、子育て環境の整備がされている。

<参考> ※一部の項目については、平成17年度以前については、旧日高町と旧門別町を合算

○ 合計特殊出生率(人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 日高町 | - | - | - | - | 1.57 | 1.8 |
| 旧日高町 | 1.88 | 1.77 | 1.72 | 1.59 | - | - |
| 旧門別町 | 1.85 | 1.65 | 1.71 | 1.50 | - | - |

○ 人口の推移(S40~H22:国勢調査、H26:住民基本台帳)

(単位:人)

| | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 11,890 | 9,575 | 9,189 | 8,478 | 8,417 | 7,971 | 7,402 | 6,785 | 6,485 |
| 20代 | 1,795 | 1,372 | 1,077 | 919 | 1,114 | 1,185 | 1,006 | 637 | - |
| 女性 | 11,096 | 9,477 | 9,078 | 8,498 | 8,139 | 7,812 | 7,328 | 6,830 | 6,557 |
| 20代 | 1,756 | 1,389 | 1,069 | 882 | 909 | 860 | 649 | 477 | - |
| 合計 | 22,986 | 19,052 | 18,267 | 16,976 | 16,556 | 15,783 | 14,730 | 13,615 | 13,042 |
| 20代 | 3,551 | 2,761 | 2,146 | 1,801 | 2,023 | 2,045 | 1,655 | 1,114 | - |

○ 出生数、出生率(北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|---------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 出生数(人) | 301 | 225 | 156 | 164 | 128 | 104 | 110 | 116 |
| 率 | | | | | | | | |
| (%) 旧日高 | 13.9 | 14.3 | 9.8 | 10.2 | 6.5 | 5.7 | 8.1 | 8.8 |
| 旧門別 | 16.3 | 11.9 | 9.1 | 9.9 | 8.4 | 7.3 | | |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移(国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 28.4% | 26.3% | 22.5% | 20.0% | 28.2% | 23.1% |
| 女性 | 49.0% | 46.1% | 41.3% | 39.8% | 40.2% | 37.1% |
| 合計 | 38.7% | 36.0% | 30.9% | 28.3% | 32.9% | 29.1% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移(国勢調査)

| | H12 | H17 | H22 |
|-------|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | 6,532 | 6,295 | 6,001 |
| 三世帯 | | | |
| 世帯数 | 489 | 390 | 299 |
| 割合 | 7.5% | 6.2% | 5.0% |
| 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況(H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 日高町 | 1,967人 | 196人 | 2,163人 | 1,252人 | 666人 | 308人 | 603人 | 1,521人 | 363人 | 3,461人 | 6,876人 | 4.7% |
| | 28.61% | 2.85% | 31.46% | 18.21% | 9.69% | 4.48% | 8.77% | 22.12% | 5.28% | 50.33% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合(H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 日高町 | 4.26% | 0.35% | 4.61% | 1.89% | 1.63% | 0.60% | 1.08% | 3.42% | 0.76% | 7.49% | 13.99% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 農業就業者の年齢構成(H22:国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 日高町 | 1.4% | 4.7% | 8.7% | 19.3% | 15.6% | 21.4% | 28.9% |
| 全道 | 0.6% | 3.5% | 5.3% | 13.1% | 15.2% | 23.5% | 38.9% |



猿払村

猿払村は、オホーツク海に面した、北海道北部にある日本最北の村。ほたての産地として有名。

人口 2,830 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 590.00 km²

- ・保育所 2 箇所 (定員 110 名)
- ・幼稚園 0 箇所
- ・子育て支援センター 2 箇所
- ・放課後児童クラブ 1 箇所
- ・小学校 6 箇所
- ・中学校 1 箇所
- ・高校 0 箇所
- ・医療機関 2 箇所 (産科 0)

1 町の特徴

- (1) 猿払村は、合計特殊出生率が全道で 5 位の 1.75。人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、ほぼ横ばい (5 名増) となっている。
- (2) 出生率 (対千人) は、猿払村の人口が少ないことから、その年の出生数により大きな影響を受けることとなり、平成 24 年には 13.5 人/千人と高い数値を示しているが、概ね 9 人/千人前後で推移している。
- (3) 20 代の女性の有配偶者率は、昭和 60 年に 62.9%であったものが、平成 22 年に 29.9%に低下しているが、平成 7 年と比べ 20 代の女性が 50 人余り増加していることによるものであり、20~24 歳の有配偶者は低率であるが、25~29 歳では 50%の高率を維持している。
- (4) 第一次産業である農業 (酪農) と漁業が主要産業で、第二次産業の水産加工業も盛んであることから、就業者の約 6 割を占めている。
- (5) 農業、漁業ともに安定した経営ができており、特に漁業 (ホタテ漁) は好調で高所得の住民が多い。

2 町独自の子育て支援等

- (1) さるふつスマイル事業 : 保健・介護予防・健診(検診)・子育て支援などの事業の参加者や社会福祉協議会(社協)で実施しているボランティア活動の協力者に対して、マイルを発行し、そのマイルをためると商品などに交換できる事業
- (2) 健診料、保育料等、子育て世帯への経済的支援の充実

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 主産業の農業や漁業の経営が安定していることにより、高校や大学に進学しても Uターンし、後継者の確保ができ、若年層の定着が図られている。
- (2) また、3 世代同居世帯が多く、育児の支援が受けやすい家庭環境にある。

<参考>

○ 合計特殊出生率 (人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 2.38 | 1.78 | 1.63 | 1.59 | 1.73 | 1.75 |

○ 人口の推移 (S40~H22:国勢調査、H26:住民基本台帳)

(単位:人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 4,027 | 1,808 | 1,688 | 1,590 | 1,553 | 1,469 | 1,411 | 1,344 | 1,363 |
| | 20代 | 476 | 224 | 252 | 179 | 165 | 152 | 153 | 164 | - |
| 女性 | 全体 | 3,423 | 1,744 | 1,686 | 1,616 | 1,568 | 1,511 | 1,529 | 1,481 | 1,467 |
| | 20代 | 402 | 225 | 210 | 167 | 150 | 161 | 211 | 201 | - |
| 合計 | 全体 | 7,450 | 3,552 | 3,374 | 3,206 | 3,121 | 2,980 | 2,940 | 2,825 | 2,830 |
| | 20代 | 878 | 449 | 462 | 346 | 315 | 313 | 364 | 365 | - |

○ 出生数、出生率 (北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|------|-----|-----|------|-----|------|
| 出生数(人) | 32 | 55 | 35 | 26 | 27 | 29 | 24 | 36 |
| 出生率(%) | 9.0 | 16.3 | 10.9 | 8.3 | 9.1 | 10.2 | 8.9 | 13.5 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移 (国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 36.5% | 38.5% | 29.7% | 37.5% | 32.0% | 23.7% |
| 女性 | 62.9% | 60.0% | 49.3% | 43.5% | 32.7% | 29.9% |
| 合計 | 48.5% | 48.8% | 39.0% | 40.6% | 32.4% | 27.1% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移 (国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 1,124 | 1,218 | 1,218 |
| 三世帯 | 世帯数 | 116 | 88 | 74 |
| | 割合 | 10.3% | 7.2% | 6.1% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況 (H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 猿払村 | 198人 | 346人 | 544人 | 494人 | 79人 | 60人 | 129人 | 241人 | 82人 | 591人 | 1,629人 | 1.5% |
| | 12.15% | 21.24% | 33.39% | 30.33% | 4.85% | 3.68% | 7.92% | 14.79% | 5.03% | 36.27% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合 (H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 猿払村 | 1.35% | 4.11% | 5.46% | 8.89% | 0.37% | 0.67% | 1.90% | 2.27% | 0.74% | 5.95% | 20.30% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 漁業就業者の年齢構成 (H22:国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 猿払村 | 0.9% | 9.8% | 8.7% | 17.9% | 30.1% | 17.6% | 15.0% |
| 全道 | 0.8% | 3.4% | 5.1% | 12.5% | 16.9% | 22.6% | 38.7% |



佐呂間町

佐呂間町は、オホーツク管内のほぼ中央部に位置し、北は一帯がサロマ湖に面している。ホタテを中心とした漁業と、酪農を中心とした農業の町。

人口 5,672 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 404.99 km²

- | | | |
|----------------------|----------------|----------|
| ・保育所 3 か所 (定員 220 名) | ・幼稚園 0 か所 | |
| ・子育て支援拠点 1 か所 | ・放課後児童クラブ 1 か所 | |
| ・小学校 3 か所 | ・中学校 1 か所 | ・高校 1 か所 |
| ・診療所 1 か所 (産科 0) | ・歯科診療所 3 か所 | |

1 町の特徴

- (1) 佐呂間町は、合計特殊出生率が全道で 6 位の 1.74。しかし、人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、3.7% 減となっており、全道 (1.2%) や道内町村 (3.4%) と比較しても、人口減少が進んでいる。
- (2) 出生率 (対千人) は、全道平均を下回っているが、15~49 歳の女性の比率が低いことや女性の比率が低い中であっても平成 22 年で 33 人、平成 24 年で 31 人出生していることから、合計特殊出生率が高くなっている。
- (3) 基幹産業である農業と漁業の経営が安定していることにより、後継者や新規就農の定住化が見られ、町によると三世代同居世帯については多子化の傾向にある。
- (4) また、乳製品工場があることにより、製造業従事者の割合も高く、若年者の雇用や、定住化、結婚に繋がっていると思われる。

2 町独自の子育て支援等

- (1) さろま子育て応援医療費助成事業：中学生まで医療費無料化
- (2) スクールバスによる登下校無料送迎事業
- (3) 町保健福祉課・町教育委員会、子育て支援センター等が連携し、「佐呂間町子育てガイドブック」を作成するなど、子育て家庭への細やかな支援を実施している

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 漁業 (ホタテ) の経営が安定していることにより、比較的后継者が確保されている。また、農業についても後継者規模拡大助成事業を実施することにより、担い手づくりも行っている。こうした取組を通じ、若年層の定着に努めている。
- (2) また、3 世代同居世帯が多く、育児支援が受けやすい家庭環境にある。

<参考>

○ 合計特殊出生率 (人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 1.85 | 1.79 | 1.66 | 1.58 | 1.55 | 1.74 |

○ 人口の推移 (S40~H22 : 国勢調査、H26 : 住民基本台帳)

(単位 : 人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26 |
|----|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 6,308 | 4,514 | 4,074 | 3,746 | 3,505 | 3,216 | 3,005 | 2,766 | 2,646 |
| | 20代 | 755 | 552 | 372 | 298 | 315 | 308 | 236 | 205 | - |
| 女性 | 全体 | 6,301 | 4,793 | 4,315 | 4,055 | 3,747 | 3,450 | 3,388 | 3,126 | 3,026 |
| | 20代 | 886 | 671 | 396 | 331 | 334 | 314 | 342 | 250 | - |
| 合計 | 全体 | 12,609 | 9,307 | 8,389 | 7,801 | 7,252 | 6,666 | 6,393 | 5,892 | 5,672 |
| | 20代 | 1,641 | 1,223 | 768 | 629 | 649 | 622 | 578 | 455 | - |

○ 出生数、出生率 (北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 出生数(人) | 120 | 81 | 83 | 57 | 57 | 49 | 33 | 31 |
| 出生率(%) | 18.9 | 9.7 | 10.6 | 7.9 | 8.6 | 7.9 | 5.7 | 5.6 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移 (国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 31.5% | 35.2% | 28.3% | 28.9% | 22.0% | 31.7% |
| 女性 | 48.5% | 46.2% | 39.2% | 44.6% | 24.7% | 38.4% |
| 合計 | 40.2% | 41.0% | 33.9% | 36.8% | 23.2% | 35.3% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移 (国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 2,445 | 2,518 | 2,407 |
| 三世帯 | 世帯数 | 327 | 265 | 210 |
| | 割合 | 13.4% | 10.5% | 8.7% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況 (H22 : 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 佐呂間町 | 609人 | 348人 | 957人 | 847人 | 244人 | 61人 | 285人 | 469人 | 123人 | 1,182人 | 2,986人 | 3.0% |
| 全道 | 20.40% | 11.65% | 32.05% | 28.37% | 8.17% | 2.04% | 9.54% | 15.71% | 4.12% | 39.58% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合 (H22 : 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 佐呂間町 | 1.20% | 0.80% | 2.00% | 6.12% | 0.80% | 0.27% | 1.44% | 2.21% | 0.37% | 5.09% | 13.21% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 漁業就業者の年齢構成 (H22 : 国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 佐呂間町 | 0.3% | 2.0% | 4.5% | 22.1% | 19.8% | 25.9% | 25.4% |
| 全道 | 0.8% | 3.4% | 5.1% | 12.5% | 16.9% | 22.6% | 38.7% |



標茶町

標茶町は、釧路管内のほぼ中央に位置し、乳牛を中心とした農業が基幹産業で、水にも恵まれ、豊かな自然を育む釧路湿原国立公園の45%を有する町。
人口8,033人（H26.6 住民基本台帳） 面積1,099.41 km²

- ・保育所 7か所（定員295名）
- ・幼稚園 1か所（在園者数38名 25.5.1現在）
- ・子育て支援拠点 1か所
- ・放課後児童クラブ 5か所
- ・小学校 5か所
- ・中学校 4か所
- ・高校 1か所
- ・医療機関 1か所（産科1）

1 町の特徴

- (1) 標茶町は、合計特殊出生率が全道で7位の1.73。しかし、人口は、平成22年（国勢調査）と平成26年6月（住民基本台帳）では、3%減少しており、他の町村と同様に人口減少が進んでいる。
- (2) 出生率（対千人）は、8.0人／千人と若干全道平均（7.1人／千人）を上回っている程度であるが、平成17年以降若年女性が減少している中、60人程度の子どもが産まれており、このため合計特殊出生率が高くなっている。
- (3) 基幹産業は農業であり、乳牛を中心とした農業就業者が3割を超え、また、雪印メグミルク磯分内工場の立地による製造業に従事している若年者も多く、農業経営が安定していることにより、若年者の占める割合も高くなっている。
また、新規就農支援制度や農業経営継承事業を実施する等、農業後継者の受入を積極的に行っている。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 乳幼児・小学生医療費助成：就学前まで通院・入院医療費、小学生の入院医療費の無料化（初診時一部負担金等を除く）
- (2) 子育て応援チケット：乳幼児一人につき30千円のみらくっく券を交付。子育て用品の購入に使用
- (3) 保育料の減免、一時保育の実施

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 酪農業を主産業とし、安定的な経営と関連企業の立地等により、後継者の確保や若年層の定着が図られている。
- (2) また、3世代同居世帯が多く、育児支援が受けやすい家庭環境にある。

<参考>

○ 合計特殊出生率 (人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 1.89 | 1.82 | 1.58 | 1.60 | 1.63 | 1.73 |

○ 人口の推移 (S40~H22:国勢調査、H26:住民基本台帳)

(単位:人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 8,102 | 6,386 | 5,729 | 5,255 | 4,889 | 4,553 | 4,335 | 3,986 | 3,874 |
| | 20代 | 1,027 | 913 | 656 | 505 | 459 | 457 | 403 | 374 | - |
| 女性 | 全体 | 7,636 | 6,351 | 5,904 | 5,446 | 5,126 | 4,835 | 4,601 | 4,299 | 4,159 |
| | 20代 | 1,094 | 974 | 670 | 514 | 453 | 402 | 352 | 296 | - |
| 合計 | 全体 | 15,738 | 12,737 | 11,633 | 10,701 | 10,015 | 9,388 | 8,936 | 8,285 | 8,033 |
| | 20代 | 2,121 | 1,887 | 1,326 | 1,019 | 912 | 859 | 755 | 670 | - |

○ 出生数、出生率 (北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 出生数(人) | 236 | 131 | 121 | 89 | 91 | 66 | 69 | 65 |
| 出生率(%) | 18.5 | 11.3 | 11.3 | 8.9 | 9.7 | 7.4 | 8.4 | 8.0 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移 (国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 28.8% | 28.7% | 25.2% | 31.3% | 24.8% | 25.9% |
| 女性 | 50.4% | 48.1% | 42.4% | 47.0% | 38.4% | 43.2% |
| 合計 | 39.7% | 38.5% | 33.8% | 38.6% | 31.1% | 33.6% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移 (国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 3,391 | 3,448 | 3,360 |
| 三世帯 | 世帯数 | 447 | 375 | 279 |
| | 割合 | 13.2% | 10.9% | 8.3% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況 (H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 標茶町 | 1,375人 | 8人 | 1,383人 | 720人 | 493人 | 208人 | 386人 | 754人 | 190人 | 2,031人 | 4,134人 | 3.5% |
| | 33.26% | 0.19% | 33.45% | 17.42% | 11.93% | 5.03% | 9.34% | 18.24% | 4.60% | 49.13% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合 (H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 標茶町 | 4.74% | 0.05% | 4.79% | 2.00% | 1.83% | 0.79% | 1.13% | 2.40% | 0.79% | 5.09% | 13.21% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 農業就業者の年齢構成 (H22:国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 標茶町 | 0.7% | 6.0% | 7.7% | 13.3% | 17.7% | 29.7% | 24.9% |
| 全道 | 0.8% | 3.4% | 5.1% | 12.5% | 16.9% | 22.6% | 38.7% |



羅臼町

羅臼町は、日本の最東北端に位置し、漁業が中心で、春のウニ漁、夏の昆布漁、秋のサケ定置網漁、冬にはスケトウダラ漁が行われ、日本一豊かな漁業の町といわれている。

人口 5,700 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 397.91 km²

- ・保育所 1 箇所 (定員 17 名)
- ・幼稚園 2 箇所 (在園者数 129 名 25.5.1 現在)
- ・子育て支援センター 1 箇所
- ・放課後児童クラブ 0 箇所
- ・小学校 5 箇所
- ・中学校 4 箇所
- ・高校 1 箇所
- ・医療機関 1 箇所 (産科 0)

1 町の特徴

- (1) 羅臼町は、合計特殊出生率が全道で 8 位の 1.72。しかし、人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、3.1%減少しており、他の町村と同様に人口減少が進んでいる。
- (2) 出生率 (対千人) は、平成 22 年に 6.2 人/千人になった以外は、全道平均を上回っている。これは、20 代の有配偶者率が高く、町によると、特に、20~24 歳の出生率が高いことが、全体の出生率を押し上げていると思われる。
- (3) 羅臼町の基幹産業は、漁業であり、就業者人口のうち約 43%が漁業就業者である。町の人口が減少している中であって、漁協組合員数は▲50 人ととどまっている。また、取扱高も多少の浮き沈みはあるものの、この 10 年間でほぼ横ばいを維持し、経営が安定している。
- (4) 3 世代同居率は 14.2%と合計特殊出生率が高い道内 10 町村の中で最も高く、さらに、道内の市町村の中でも 4 番目に高い。
- (5) 平成 24 年に特別養護老人ホームや関連施設の職員を対象にした事業所内保育所 (24 時間対応) が開設されるとともに、栄養士管理による完全給食で家庭をサポートしている。(一般町民も利用可)

2 町独自の子育て支援等

- (1) 妊婦宿泊費助成制度：出産した医療機関から、悪天候等により同町に戻れず、医療機関所在地に滞在した場合に 1 泊 5 千円、3 日を限度に助成
- (2) 乳幼児医療費助成制度：0~3 歳まで全額、3 歳~入学まで 1 割負担、小学生は入院時 1 割負担
- (3) 平成 19 年度に全保育園を閉園したが、入園前の子育て支援として専任保育士を配置した子育て支援センターを設置
- (4) 町立病院には常勤医師による産婦人科の開設はないが、月 1 回出張医師による産婦人科外来を開設
- (5) 妊婦を対象に、母親教室 (ぷれママスクール) を実施

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 漁業が主産業で、安定した経営ができていることにより、後継者の確保ができ、若年層の定着が図られている。
- (2) また、3 世代同居世帯が多く、育児支援が受けやすい家庭環境にある。

<参考>

○ 合計特殊出生率(人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 1.99 | 2.04 | 1.88 | 1.67 | 1.64 | 1.72 |

○ 人口の推移(S40~H22:国勢調査、H26:住民基本台帳) (単位:人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 4,653 | 4,454 | 3,838 | 3,948 | 3,717 | 3,501 | 3,242 | 2,931 | 2,818 |
| | 20代 | 882 | 749 | 667 | 601 | 486 | 400 | 338 | 313 | - |
| 女性 | 全体 | 4,278 | 3,795 | 4,227 | 3,857 | 3,754 | 3,455 | 3,298 | 2,954 | 2,882 |
| | 20代 | 838 | 627 | 551 | 543 | 460 | 348 | 300 | 251 | - |
| 合計 | 全体 | 8,931 | 8,249 | 8,065 | 7,805 | 7,471 | 6,956 | 6,540 | 5,885 | 5,700 |
| | 20代 | 1,720 | 1,376 | 1,218 | 1,144 | 946 | 748 | 638 | 564 | - |

○ 出生数、出生率(北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|
| 出生数(人) | 142 | 119 | 103 | 90 | 59 | 66 | 36 | 54 |
| 出生率(%) | 17.2 | 14.8 | 13.2 | 12.1 | 8.5 | 10.1 | 6.2 | 9.4 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移(国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 33.4% | 30.1% | 30.7% | 27.5% | 26.9% | 24.6% |
| 女性 | 52.1% | 51.7% | 53.3% | 49.4% | 40.0% | 40.6% |
| 合計 | 41.9% | 40.4% | 41.6% | 37.3% | 33.1% | 31.7% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移(国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 2,286 | 2,267 | 2,175 |
| 三世帯 | 世帯数 | 437 | 404 | 309 |
| | 割合 | 19.1% | 17.8% | 14.2% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況(H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------------|------------------|------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|------------------|------------------|-------|
| 羅臼町 | 36人 1.06% | 1,461人 42.96% | 1,497人 44.02% | 699人 20.55% | 318人 9.35% | 109人 3.20% | 123人 3.62% | 484人 14.23% | 171人 5.03% | 1,205人 35.43% | 3,401人 100.0% | 2.3% |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

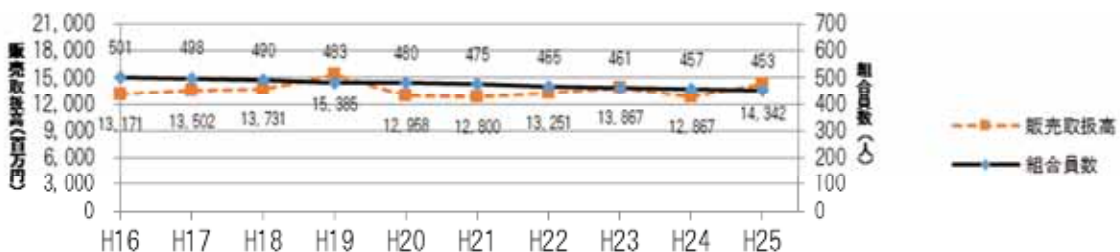
○ 就業者のうち29歳以下の占める割合(H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 羅臼町 | 0.15% | 4.79% | 4.94% | 3.70% | 2.06% | 1.00% | 0.59% | 2.23% | 0.73% | 6.61% | 15.25% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 漁業就業者の年齢構成(H22:国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 羅臼町 | 1.1% | 4.4% | 5.6% | 12.9% | 23.4% | 25.5% | 27.1% |
| 全道 | 0.8% | 3.4% | 5.1% | 12.5% | 16.9% | 22.6% | 38.7% |

○ 販売取扱高と組合員の推移





大空町

大空町は、オホーツクの空の玄関のひとつである女満別空港を擁し、基幹産業は農業で、麦類、じゃがいも、甜菜、豆類、野菜で、その他には日本最東端の米など多岐にわたった栽培が行われている。

人口 7,763 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 343.62 km²

- ・保育所 2 箇所 (定員 68 名)
- ・幼稚園 2 箇所 (在園者数 189 名 25.5.1 現在)
- ・子育て支援センター 1 箇所
- ・放課後児童クラブ 3 箇所
- ・小学校 2 箇所
- ・中学校 2 箇所
- ・高校 2 箇所
- ・医療機関 2 箇所 (産科 0)

1 町の特徴

- (1) 大空町は、合計特殊出生率が全道で 9 位の 1.71。しかし、人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、2.1%減少しており、他の町村部よりは減少率が低いものの、人口減少は進んでおり、特に、20 代の人口減少が進行している。
- (2) 出生率 (対千人) は、全道平均 (7.1 人/千人) よりも若干高く (7.4 人/千人)、更に、20 代の有配偶者率 (32.6%) や三世帯同居率 (12.3%) も全道平均より高くなっている。
- (3) 農業就業者が約 4 割となっている農業の町である。農業経営は比較的安定しているが、他の合計特殊出生率が高い町村と比べると農業就業者の年齢構成が全道平均値に近く、若年の農業への就業者が高率となっていないのが特徴である。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 子ども医療費助成事業：助成対象を中学生まで
- (2) 不妊治療費の助成：1 回 5 万円限度。1 年度 2 回 (初年度は 3 回)
- (3) 保育の充実、保育所等の保育料の減免
- (4) 子育て家庭等に対する相談支援、子育て支援事業の実施
- (5) 子育て世帯に対するゴミ袋支給事業：1 歳 6 か月未満の乳幼児の保護者
- (6) 異業種交流による出会いの場の確保

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 農業が主産業で、安定した経営ができていることや 3 世代同居等により、子育て支援が受けやすい環境にある。
- (2) また、町独自に農政アドバイザーを配置し、農業後継者の育成や花嫁対策等の農家世帯に対する支援を行っている。

<参考> ※一部の項目については、平成17年度以前については、旧東藻琴村と旧女満別町を合算

○ 合計特殊出生率(人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|-------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 大空町 | - | - | - | - | 1.68 | 1.71 |
| 旧東藻琴村 | 2.04 | 1.68 | 1.49 | 1.42 | - | - |
| 旧女満別町 | 1.97 | 1.66 | 1.61 | 1.54 | - | - |

○ 人口の推移(S40~H22:国勢調査、H26:住民基本台帳) (単位:人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 6,590 | 4,684 | 4,664 | 4,523 | 4,423 | 4,377 | 4,065 | 3,840 | 3,769 |
| | 20代 | 744 | 576 | 531 | 428 | 485 | 509 | 356 | 280 | - |
| 女性 | 全体 | 6,648 | 4,919 | 4,765 | 4,715 | 4,569 | 4,569 | 4,327 | 4,093 | 3,994 |
| | 20代 | 983 | 717 | 564 | 510 | 426 | 473 | 329 | 236 | - |
| 合計 | 全体 | 13,238 | 9,603 | 9,429 | 9,238 | 8,992 | 8,946 | 8,392 | 7,933 | 7,763 |
| | 20代 | 1,727 | 1,293 | 1,095 | 938 | 911 | 982 | 685 | 516 | - |

○ 出生数、出生率(北海道保健統計)

| | | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|----------|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 出生数(人) | | 143 | 130 | 84 | 84 | 85 | 66 | 64 | 57 |
| 率 (%) | 旧東藻琴 | 14.4 | 17.5 | 9.2 | 8.2 | 10.1 | 9.0 | 8.1 | 7.4 |
| | 旧女満別 | 15.1 | 11.9 | 9.1 | 9.9 | 9.2 | 7.4 | | |
| 全道(%) | | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移(国勢調査)

| | | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | | 31.6% | 27.8% | 22.7% | 26.9% | 29.8% | 23.6% |
| 女性 | | 51.8% | 45.1% | 40.1% | 42.5% | 45.9% | 43.2% |
| 合計 | | 42.0% | 37.2% | 30.8% | 34.4% | 37.5% | 32.6% |
| 全道 | | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移(国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 3,069 | 3,007 | 2,959 |
| 三世帯 | 世帯数 | 523 | 446 | 363 |
| | 割合 | 17.0% | 14.8% | 12.3% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況(H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 大空町 | 1,584人 | 31人 | 1,615人 | 639人 | 364人 | 161人 | 275人 | 696人 | 222人 | 1,718人 | 3,972人 | 2.7% |
| | 39.88% | 0.78% | 40.66% | 16.09% | 9.16% | 4.05% | 6.92% | 17.52% | 5.59% | 43.24% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合(H22:国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 大空町 | 3.10% | 0.05% | 3.15% | 1.50% | 1.30% | 0.64% | 1.21% | 1.99% | 0.54% | 7.49% | 10.33% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 農業就業者の年齢構成(H22:国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 大空町 | 0.2% | 2.7% | 5.1% | 16.0% | 17.1% | 23.7% | 35.2% |
| 全道 | 0.6% | 3.5% | 5.3% | 13.1% | 15.2% | 23.5% | 38.9% |



浦幌町

浦幌町は、十勝管内の最東端に位置し、町土の約 65%を占める森林や海など雄大な自然に囲まれた町。

人口 5,299 人 (H26.6 住民基本台帳) 面積 729.64 km²

- ・保育所 1 箇所 (定員 90 名)
- ・幼稚園 2 箇所 (在園者数 34 人 25.5.1 現在)
- ・子育て支援拠点 1 箇所
- ・放課後児童クラブ 1 箇所
- ・小学校 3 箇所
- ・中学校 2 箇所
- ・高校 0 箇所
- ・医療機関 2 箇所 (産科 0)

1 町の特徴

- (1) 浦幌町は、合計特殊出生率が全道で 10 位の 1.69。しかし、人口は、平成 22 年 (国勢調査) と平成 26 年 6 月 (住民基本台帳) では、2.9%減となっており、概ね他の町村と同様に人口減少が進んでいる。
- (2) 出生率 (対千人) は、平成 12 年以降、全道平均を下回っていたが、平成 24 年に 9.3 人/千人となり、全道平均 (7.1 人/千人) を大きく上回った。
20 代の有配偶者率 (34.5%) や三世帯同居率 (8.4%) は、全道平均より高くなっている。
- (3) 浦幌町の基幹産業は農業であるが、農家戸数及び生産額を見ると畑作・畜産部門ともに 50% 前後の割合となっており、北部は内陸性気候から畑作経営が多く、南部の太平洋沿岸は海霧の影響を受けるため酪農・畜産経営が中心、中部は畑作と畜産が混在する状況で経営が行われている。
- (4) 浦幌町の離農者数は年々増加しており、農家戸数は減少傾向にあるが、農畜産物の生産額は H21 年度の深刻な冷湿害による減額を除き年々増加している。この背景としては、一戸における農業規模の拡大や高性能農業機械の導入促進に対する助成事業の活用などにより、生産性の向上を図られていることが要因と考えられ、こうしたことにより、近年、農家後継者が地元に戻ってきており、これにより、農家後継者が結婚し、子供を授かることから三世帯同居が増えている。

2 町独自の子育て支援等

- (1) 乳幼児等医療給付事業：中学生まで医療費助成
- (2) 出産祝い金：出生児一人につき 5 万円支給
- (3) 妊婦健診・妊婦訪問事業、母子家庭訪問事業 (新生児、乳児、健診事後訪問) 等の実施
- (4) 特定不妊治療費や予防接種等への助成
- (5) 保育料の軽減

3 出生率が高いことに寄与していると考えられる要因

- (1) 農業が主産業で、安定した経営ができており、3 世代同居世帯等により、育児支援を受けやすい環境にある。

<参考>

○ 合計特殊出生率 (人口動態統計)

| | S58~62 | S63~H4 | H5~9 | H10~14 | H15~19 | H20~24 |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 合計特殊出生率 | 2.03 | 1.84 | 1.54 | 1.53 | 1.58 | 1.69 |

○ 人口の推移 (S40~H22: 国勢調査、H26: 住民基本台帳)

(単位: 人)

| | | S40 | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H26.6 |
|----|-----|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 全体 | 7,114 | 5,094 | 4,585 | 4,058 | 3,695 | 3,317 | 2,933 | 2,595 | 2,771 |
| | 20代 | 993 | 639 | 493 | 361 | 299 | 257 | 223 | 205 | - |
| 女性 | 全体 | 6,666 | 5,260 | 4,673 | 4,337 | 3,926 | 3,529 | 3,135 | 2,865 | 2,528 |
| | 20代 | 1,024 | 746 | 497 | 390 | 330 | 244 | 173 | 160 | - |
| 合計 | 全体 | 13,780 | 10,354 | 9,258 | 8,395 | 7,621 | 6,846 | 6,068 | 5,460 | 5,299 |
| | 20代 | 2,017 | 1,385 | 990 | 751 | 629 | 501 | 396 | 365 | - |

○ 出生数、出生率 (北海道保健統計)

| | S50 | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H24 |
|--------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 出生数(人) | 163 | 115 | 75 | 49 | 44 | 37 | 35 | 49 |
| 出生率(%) | 15.7 | 12.4 | 8.9 | 6.4 | 6.4 | 6.1 | 6.4 | 9.3 |
| 全道(%) | 16.8 | 11.7 | 9.7 | 8.8 | 8.2 | 7.4 | 7.3 | 7.1 |

○ 有配偶者(20代)の推移 (国勢調査)

| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 28.4% | 32.1% | 26.4% | 27.2% | 23.8% | 29.8% |
| 女性 | 51.1% | 49.2% | 37.2% | 36.5% | 41.6% | 40.6% |
| 合計 | 39.8% | 41.0% | 32.1% | 31.7% | 31.6% | 34.5% |
| 全道 | 35.7% | 30.6% | 26.4% | 21.7% | 24.9% | 21.0% |

○ 三世帯同居の推移 (国勢調査)

| | | H12 | H17 | H22 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 一般世帯数 | | 2,520 | 2,374 | 2,210 |
| 三世帯 | 世帯数 | 328 | 250 | 186 |
| | 割合 | 13.0% | 10.5% | 8.4% |
| | 全道 | 5.9% | 4.9% | 3.9% |

○ 就業者の状況 (H22: 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 | 完全失業率 |
|-----|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 浦幌町 | 923人 | 96人 | 1,019人 | 552人 | 257人 | 81人 | 227人 | 462人 | 179人 | 1,206人 | 2,777人 | 3.7% |
| | 33.24% | 3.46% | 36.70% | 19.88% | 9.25% | 2.92% | 8.17% | 16.64% | 6.45% | 43.43% | 100.0% | |
| 全道 | 6.2% | 1.4% | 7.6% | 26.7% | 17.7% | 4.6% | 12.3% | 25.5% | 5.5% | 65.7% | 100.0% | 7.1% |

○ 就業者のうち29歳以下の占める割合 (H22: 国勢調査)

| | 農業・林業 | 漁業 | 第1次産業計 | 第2次産業計 | 卸売り | 教育 | 医療・福祉 | その他 | 公務 | 第3次産業計 | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 浦幌町 | 3.00% | 0.39% | 3.39% | 2.21% | 1.14% | 0.18% | 1.29% | 2.00% | 1.00% | 5.61% | 11.21% |
| 全道 | 0.55% | 0.13% | 0.68% | 2.99% | 3.14% | 0.62% | 2.26% | 5.33% | 0.94% | 12.29% | 15.96% |

○ 農業就業者の年齢構成 (H22: 国勢調査)

| | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 浦幌町 | 0.7% | 3.1% | 5.3% | 9.6% | 18.1% | 25.1% | 38.1% |
| 全道 | 0.8% | 3.4% | 5.1% | 12.5% | 16.9% | 22.6% | 38.7% |

○ 農業生産額、離農者等の推移 (浦幌町より情報提供)

| | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 農業生産額 | 約8,500百万円 | 約8,000百万円 | 約8,300百万円 | 約8,500百万円 | 約9,100百万円 |
| 離農者 | 5人 | 1人 | 1人 | 5人 | 7人 |
| 新規就農者 | 4人 | 4人 | 13人 | 8人 | 5人 |